

長府庭園開園 30周年 プレ企画

まつりごと

# 「ウサギ侍五人衆の政」

ゆきなが

じーじ

～ 西 運長からの手紙 編 ～

**ウサギ侍を探して記念品をゲットしよう!**

**期 間：令和5年1月2日(月)～1月31日(火)**

**場 所：長府庭園**



長府庭園 【入園料】 ● 大人：210円 ● 小中学生：100円 ● 65歳以上(下関市・北九州市在住の方)：100円

下関市長府黒門東町8番11号 TEL・FAX **083-246-4120**

西運長からの手紙

「むかし昔、長府毛利藩には、若くて仲の良い五人のウサギ武士がおりました。毎日、日暮れまで申崎城あとの外浦で、たむろするのが常でした。」

「ウサギ侍五人衆は、毛利兎元をはじめ、細川義兎、三吉兎乃進、毛利兎太郎、毛利兎三郎の五人です。」

「彼らは、家老格の家柄で、幼い頃から仲が良く、何をするにも一緒でした。」

「年の瀬のある日、夕暮れ時になっても、うさもとがいつもの場所に現れません。皆が心配していると、息をきらして走ってきます。」

「みんなあー、ゆきながじーじからふみが届いたぞー」

— ふみの内容は次のとおりでした

来年は、宗家十三代当主 毛利隆元殿の生誕五百年の祝いをやる。新年には皆で来るのじゃ。

「皆、パーティは大好物です。二つ返事で参加することとしました。」

「そうなるよ準備をしなくてはなりません。」

・祝いの品は何がいろいろ...

・祝いの席で、出し物があるのかなあ...

などなど

忙しくなりました。」

「五人は音楽が得意です。たかもとじーじのために歌って踊ることにしました。祝いの品も兼ねています。」

「毎日おとめの後は外浦に集合し、ユニットの練習です。思いがけずに皆に歌を披露する事になり、はりきっています。」

「今日はお正月。いよいよ皆にお披露目です。初めての事なので、五人はワクワク、ソワソワ... 西家の庭で、最後の練習です。」

「ところが、いつになっても誰も来ません、ゆきながじーじも屋敷に居ません。」

あつ 場所間違えた...

つづく

ウサギ侍五人衆は、

西家(長府庭園)に来ています。

ウサギ侍を探して正門(事務所)まで

お知らせください。

正解者には記念品を

差し上げます。



毛利兎三郎

毛利兎元

三吉兎乃進

細川義兎

毛利兎太郎